

東京滝川会だより 7

VOL.132

令和8年度 東京滝川会総会・懇親会を開催しました！！

令和8年7月18日（土）に、松尾ジンギスカン赤坂店にて令和8年度東京滝川会総会・懇親会を開催しました。

総会では令和7年度の事業・決算報告、令和8年度の事業・予算の提案を行い、全会一致で可決されました。

当日は会員や非会員、来賓を合わせて過去最多となる約60名の参加となり、それぞれふるさとの思い出話に花を咲かせながら、大盛況のうちに会を終えることができました。

令和8年度の会員交流会は10月17日（土）に日本料理三平にて開催予定です。詳細は改めてご案内いたしますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただけますと幸いです。



【会員紹介】

～理事 大野 直紀さん～

滝川に思うこと（今、昔そしてこれから）

東京滝川会のお手伝いをさせていただいている大野直紀と申します。

私が生まれ育ったのは滝川から少し離れた浦臼という田舎町ですが滝川高校の3年間を下宿生活しながら滝川に3年間住んでおりました。わずか3年滝川で過ごしただけなのですが、何故か滝川には子供の頃から縁が深く、歯の治療に通った歯科医院、腸閉塞の手術を受けた外科医院、蓄膿症の治療に通い手術を受けた耳鼻咽喉科医院もすべて滝川でした。

スキーを買ってもらったり洋服を買ってもらったり値の張る買い物の際も滝川に出かけていた記憶があります。田舎者の私にとって滝川は何でも揃っている魅力的な町でした。

その頃の滝川駅は道北、道東から札幌、函館方面に向かうすべての列車が滝川駅を経由するため多くの列車が停車し、また周辺市町村へ向かうバスの発着駅となっていたため大変な賑わいで駅前には常に人であふれていました。駅の待合室のベンチに座って多くの人が行き交うのを見ながら浦臼行きのバスの時間が来るのを待っていたのを思い出します。

高校を卒業した後も帰省の際には必ず滝川に出掛けて食事をしたり友達と会ったりしていましたが、やはり滝川の街は活気に溢れていました。

現在、道の駅のリニューアルや滝川地方卸売市場の施設管理、異業種展開など滝川での仕事のお手伝いをさせていただいており、滝川には定期的に出掛けていますが残念なことに今の滝川は他の地方都市と同様に少子化、人口流出の影響もあって昔の輝きを失いつつある街になってきているようで、当時の賑わいを思い出すと残念でなりません。

人口の減少、流出は抗うことが出来ない現実ですが、街が輝きを失うこととはイコールではないと思います。都市の人口や規模に関わらない魅力的な町づくりは可能と考えます。

人が成長する過程で一旦故郷を離れることはある意味必然なことかもしれませんが、その町に魅力と価値を感じればまた故郷に戻りたいと考えるでしょう。他方、その町の魅力を知って移り住んでみたいと考える方もいるのではないのでしょうか。滝川が再びそんな魅力、そんな誇りのある町となるように微力ながら東京滝川会の一員として寄与できればと考えております。

令和8年度役員

会長	加藤 晃章	理事	石橋 弘美
副会長	栗原 茂実		大野 直紀
	黒沼 正弘		田塾 寧
	笹川 祐子		堀越 範子
	田湯 智康		吉川 顯
事務局長 (理事)	月館 聡成	監事	宮本 信幸
	今野 利春		三輪 秀一

会費納入について

総会で令和8年度事業計画及び予算が承認されたことに伴い、今年度の会費につきましては1,000円とすることが決定いたしました。

インターネット又は同封の郵便局専用「振替払込用紙請求書」にて納入方よりお願いいたします。

なお、令和7年度以前に未納のある方につきましては、未納額を含めた分のご請求をしております。

※インターネットを利用する場合は会費納入案内文に記載されているお振込先口座にお振込みいただきますようお願いいたします。

あなたの近況を会報でご紹介しませんか？

会報を通じて、皆様の近況や活動情報をご紹介しませんか？
写真とコメントをお寄せいただければ、紙面の枠を活用して順次掲載いたします。
なお、紙面の都合上、内容を要約させていただく場合や、掲載の順番を調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆申込方法◆

・投稿フォーム（二次元コード）またはEメールにて写真とコメント（最大200字）をお送りください。

